

長野県縦断駅伝競走大会 飯山栄チームが2年連続単独で出場

長野市から諏訪市までの14区間109・82キロを擧げつなぐ第73回長野県縦断駅伝競走大会が11月24日に開催されました。

この大会に出場するためには、高校生以上で規定された人数が参加標準記録を上回っていることが要件となります。飯山栄チームは昨年に引き続きこの規定を満た

たし、2年連続で単独チームとして出場することができました。

結果は12位となり、目標としていた10位以内には惜しくも届きませんでした。各選手がそれぞれ全力を尽くし、懸命に走ることができました。市民の皆さんから温かいご声援をいただき、ありがとうございました。



7区 佐藤 健人 選手



9区 小島 善 選手

飯山栄チーム出場選手の皆さん

(監督：堀田 学 助監督：山本雄二 主将：佐藤聖也)

区間 ()内は区間距離	選手名 (敬称略)	所属
1区 (2.13km)	齊藤 里莉奈	城北中学校
2区 (9.26km)	進藤 聖真	飯山高校
3区 (3.09km)	清水 雅俊	城南中学校
4区 (7.80km)	島田 佳祐	㈱ NTT データフロンティア
5区 (15.68km)	宮川 健太	㈱アルプスツール
6区 (3.07km)	篠原 春華	飯山高校
7区 (12.56km)	佐藤 健人	㈱カワモト
8区 (8.09km)	山田 悠晴	飯山高校
9区 (2.90km)	小島 善	城南中学校
10区 (7.34km)	服部 正秋	㈱穀藤
11区 (9.35km)	宮内 晴生	飯山高校
12区 (7.48km)	和田 翔太郎	飯山高校
13区 (7.88km)	鷲野 彪雅	法政大学
14区 (13.19km)	佐藤 聖也	飯山市役所



米・食味分析鑑定コンクール国際大会

東小学校が「特別優秀賞」を受賞

第26回 米・食味分析鑑定

コンクール国際大会において、東小学校児童の皆さんが福島県の棚田で栽培したコシヒカリを出品し、見事、小学校部門全体で二番目となる特別優秀賞を受賞しました。このコンクールは、米・食味鑑定士協会が主催している世界最大規模の米のコンクールで、受賞者のお米は、国内はもとより海外でも高い評価を得ている権威の高いコンクールとなっ

ています。

東小学校が出品した「小学校部門」の審査は、整粒値75%以上・食味値85点以上の検体が2次審査に進み、1次審査と2次審査の合計点数の高い順に、金賞・特別優秀賞を決定するもので、東小学校は審査の結果、特別優秀賞を受賞。12月7日に山梨県北杜市で行われた表彰式に児童の皆さんが校長先生・教頭先生とともに出席しました。



稲刈りを行う児童の皆さん
(令和6年9月)

飯山市では各小学校で、農業委員さんや地域の方々のご協力をいただきながら、米作り学習を実施しています。東小学校は閉校しますが、城北小学校でも引き続き米作り学習を実施していく予定です。

地域内での有効活用を目指して 小学生対象のスキー用品譲渡会を実施

各家庭で不要になったクロスカントリースキーやアルペンスキー用品を飯山市が回収し、希望する小学生のご家庭に譲渡する「スキー用品譲渡会」を、11月下旬に初めて開催しました。

今回の譲渡会は、地域全体で取り組んでいるスキー用品の有効活用のために試行で実施したもので、事前に安全に使用できることを確認し



譲渡会で出品したスキー用具の一部

ことができました。今回は各小学校単位での実施などを含め、研究していく方針です。

お問い合わせ
スポーツ推進課
Tel 67-0746 (課代表)

飯山市はジャンプ競技の会場に 長野県スキー大会週間が行われます

長野県スキー大会週間が令和7年(2025年)1月に行われ、飯山市ではジャンプ競技が下記の予定で行われます。

飯山市は令和10年(2028年)の、国スポ冬季大会スキー競技会の開催地となっており、今後も、大きな大会が開催される予定です。市民の皆さんのご理解ご協力をお願いいたします。

お問い合わせ

国民スポーツ大会準備課
Tel 67-0746 (課代表)

第47回長野県スキー大会週間 ジャンプ競技開催概要

- 開催日 (日程は天候等により変更の場合あり)
 - ・1月17日(金) 中学大会・高校大会
スペシャルジャンプ、ノルディックコンバインドジャンプ
 - ・1月19日(日) 国スポ予選・県選手権
スペシャルジャンプ、ノルディックコンバインドジャンプ
市営飯山ジャンツェ
- 会場

城南中男子チーム・城北中女子チームが出場 北信越中学校駅伝競走大会結果

11月30日、第18回北信越中学校駅伝競走大会が長野市陸上競技場周回コースで行われ、飯山市からは長野県大会を好成績で勝ち進んだ、城南中学校男子チームと城北中学校女子チームがそれぞれ出場しました。

男子が6区間 17.8km、女子が5区間 11.6km で争われた競技の結果は以下のとおりです。

- 男子の部
 - ・第26位 城南中学校
- 女子の部
 - ・第18位 城北中学校



人権学習 シリーズ

多様な障がいのある人たちが成長できる職場

フジすまいるファーム飯山勤務 伊藤 大輔

障がいのある私が働いている株式会社フジすまいるファーム飯山は、北信地域では珍しい就労継続支援A型事業所として、障がい者がそこで働きながら一般就労できるように支援してもらえる企業です。農業と福祉の連携を軸に、障がい者の成長と地域へ貢献することがこの企業の経営理念です。木島地区となべくら高原の圃場で坂井芋(里芋)、枝豆、とうたち菜などを生産しています。

現在は20代から50代までの男女約20名の障がい者が在籍しています。障がい者といっても様々です。身体、知的、精神障がいなどがあります。人によって障がいの重さが違ったり、症状が異なったりします。コミュニケーションを取るのが苦手な人もいます。また、体調が不安定で会社を長期で休んでしまうこともあります。障がいのある人にとっては病気や障がいと上手に付き合って生きていかなければならず、その点で一般就労はハードルが高いです。

一般の企業経営者からすると障がい者は生産性が低かったり、どう対応していいかわからなかったりするかもしれませんが、確かに健常者より劣る面があると思います。しかし、私たちは暑い日も寒い日も毎日農作業を頑張り、より良い農産物を消費者の方々へお届けするために皆が一丸となつて働いています。

この会社には障がい者に理解があり、農業に詳しいスタッフが数名在籍しています。私はいつかスタッフのようになれるようにと考え、彼らを目指して仕事をしています。

障がい者が働ける職場は残念ながら多くはありません。フジすまいるファーム飯山は農業法人なので、屋外での仕事メインです。障がいのある人にとっては屋外で農作業をすることに抵抗がある人があるかもしれませんが、そういった意味では多様な職種が選べるように、もっと障がい者の雇用が増えると思います。